



## 7. エ ネ ル ギ ー 章

所属： \_\_\_\_\_ 第 \_\_\_\_\_ 団 \_\_\_\_\_ 隊 スカウト氏名： \_\_\_\_\_

	考 査 細 目	考 査 方 法	合格年月日	認印
(1)	第1次エネルギーの種類をあげ、その現状について説明すること。	口述または記述		
(2)	水力、火力および原子力による電気エネルギーの原理を知り、それぞれの長所短所について述べること。	口述または記述		
(3)	家庭を中心とした熱エネルギー（給湯・暖房など）についてその製造方法の概要と供給経路を知ること。	口述または記述		
(4)	ソーラーエネルギー（直接・間接）について説明すること。	口述または記述		
(5)	ソーラーエネルギーシステムなどエネルギーの簡易変換利用装置を製作し、その仕組みについて説明すること。	作品を提示、写真・設計図の提示、必要により考査員が出向く、口述		
(6)	原子力、風力、太陽、海洋、地熱・バイオガスなど未来におけるエネルギーの供給に関して自分の考えをまとめ、また実用的なものを調べて報告すること。	報告書の提出		
(7)	君の家または町で見られるエネルギーの浪費の実例10、及びエネルギー利用による汚染があれば、事例5つをあげそれらをなくす提案をすること。	レポートの提出		
(8)	「われわれはなぜエネルギー資源の保護・開発をするのか」について、隊や班で話す。	隊長の証印		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 \_\_\_\_\_ 印